

子どもたちとパパママたちのためのちょっとイイ話

おとのにじ通信

心に太陽を くちびるに歌を♪



アーカイブ版

初版 2016.12.104 発行

音育ひろば♪うぱぼ

有田 和代

「オギャ〜」と生まれて10歳までは

丈夫な「根っこ」を育てよう！



「3歳からでは遅すぎる」「英語脳を育てる」…こんな見出しが育児情報の広告を飾るようになってからもうずいぶんたちます。私が子育て真っ最中の頃も電話や訪問販売が盛んでした。ちょっとでも話を聴こうものなら終わらない(笑) そりゃあ販売員さんも必死ですものね！

「かしこい子に育てたい」というのは親にとって普通の願い。だからこそ 何か一つ人より秀でたものをもつ親心にこういう早期教育が受け入れられてきたのだけれど…

ちょっと待った！！

オギャ〜と生まれてヒトから人間へと発達していくこの時期に育てるべき「かしこさ」の中身って??…早く文字が書けることなの？ ネイティブな発音で英語がしゃべれることなの？ ピアノが弾けたりサッカーができたりすることなの？

いろんな考えの方はいらっしゃるでしょうが、わたしの答えは「NO!」です。

太陽と土と水と仲間 そして本物の文化～体験主義でいこう！～

賢い子どもにするための教材をあえて挙げろと言われれば この5つだとわたしは思います。人間として生きていくために本当に必要な「かしこさ」って学力とは少しちがうと思うのです。一言にまとめるなら **何か問題が起こった時に知恵をはたらかせ周りの人たちと力を合わせて解決していく力** だと思うんです。

太陽と土と水が作り出す自然界のあらゆるいのちの循環(もちろん人間もその循環の中にいますね♪)は 不思議さや感動でいっぱい！その不思議さや感動を生々の体験を通して五感で感じとることこそが生きる意欲、逞しい「根っこ」を育てます。 子どもは小さな科学者とはよく言ったもの(^) 泥んこ遊びに熱中してる時の子どもの目はまさに科学者です！！

今のご時世 紫外線とか PM2.5 とか犬猫のフンがどうのとか…もううんざりするくらい子どもを外遊びから遮断するような理由付けがてんこ盛りだけど、そういう有害なものに負けない体を作るには日光浴や全身を使って外で思い切り遊ぶことはとっても大切。 さじ加減は必要だけれど、今一度 人間も自然の一部だということ、その自然の中にこそ実は人間に育つための大切なエッセンスがちゃんと用意されていることに 子どもに関わる多くの大人に思い出してほしいなあと思うこの頃です。